フランス現代思想研究会

立先院 命端生 館総プ 大合ジ 学学ェ 大術ク 学研ト 院究科

2024-2025

代表：蛭間直人（表象4回）
（ミシェル・フーコー研究）

研究メンバー

立川宗一郎（表象2回）
（モーリス・ブランショ研究）

徳永怜（表象2回）
（ミシェル・フーコー研究）

濱中健太（表象7回）
（ジル・ドゥルーズ研究）

北村公人（表象3回）
（ジャック・ラカン研究）

呉海鷗（ゴカイオウ）（共生3回）
（古着の輸出販売実践の研究）

この院生プロジェクトは、フランス現代思想に関する文献を用いた講読会を通じて、分野の知見を深め、研究者としてのスキルアップを目指すことを目的としています。研究会の方針としては、2024年6月から2025年2月にかけて、月数回の講読会をベースに、ディスカッションを行おうと考えています（今年度扱う文献：ミシェル・フーコー『安全・領土・人口』）。

これまでの研究会について／昨年度は、以下のようなイベントを開催するなど活動してきました。
（ドゥルーズ＋ガタリのマイナー文学的戦略から問う人文知の「出口」：https://www.r-gscefs.jp/?p=14471）

●使用文献
ミシェル・フーコー
『安全・領土・人口』
＋
重田園江
『統治の抗争史
：フーコー講義1978-79』

●代表連絡先
gr0529sf@ed.ritsumei.ac.jp

フランス現代思想研究会